

令和3年度 データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム 自己点検・評価

評価日時: 令和4年3月8日および3月16日

開催場所: (3月8日)武庫川女子大学中央図書館棟C903、(3月16日)オンライン開催

目的: 令和3年度の「データリテラシー・AIの基礎/入門(リテラシー教育プログラム)」の自己点検・評価

評価項目: 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」

自己点検・評価の視点	評価・意見
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の趣旨を踏まえ、データサイエンス・AI教育は次世代を担う学生の教養として不可欠と考え、大学10学部17学科の新入生全員に必修とした。令和3年度は、新規科目として「データサイエンス・AIの基礎」を共通教育科目として1年次向けにオンライン授業として開講した。ただ、看護学科については、必修化にともなう科目調整が間に合わなかったため、令和3年度は「データサイエンス・AI入門」を選択科目として設け、全員の履修を指導することで対応した。結果的に看護学科の学生全員が当該科目を履修した。なお、令和4年度は看護学科の学生についても必修とすることが全学的に合意されている。</p>
学修成果	<p>全学必修の科目であるため、詳細な学習状況や理解度の把握のため、毎回、確認テストを実施した。その結果、得点率は毎回80%前後で推移している。また、毎回、学習についての感想を求め、学習上の困難点の把握に努めた。これらの情報に基づき、データサイエンス学習支援ルームやデータサイエンス・AI教育運営委員会等で分析を行い、その後の教材開発や評価方法、学生サポートの改善に反映することができた。また、全15回の授業終了後、学習全般に関するアンケートを実施し、その分析結果に基づき、取り組み全般の総括を行い、次年度の改善点を明確にした。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>全授業終了後のアンケート調査において、各回の授業内容の理解度、教材や課題の適切性、Excelに関する知識とスキル、データサイエンスやAIへの関心度等に関する学生の評価を収集した。その結果、授業内容は適切であると評価され、課題の難易度・分量も適切であるとの回答が大半であった。また、授業形態(オンデマンド型授業)についてもメリットがあると感じている学生が大半であった(約95%)。自由記述の感想では、今後のデータサイエンスやAIに関するさらなる学習に意欲的なコメントも多くみられた。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>本プログラムで開講する「データリテラシー・AIの基礎」は全学必修科目であるため、本学に入学すると全員が受講しなければならない。したがって、後輩学生等への推奨度については確認していないが、本科目のホームページに、受講生の声を掲載し、科目の特徴や身に付いた知識・スキルをわかりやすく紹介している。また、2023年度入学生の向けのキャンパスガイドでは、2ページにわたって本プログラムの内容を紹介し、科目の目的や内容とともに、受講生の感想を紹介している。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>令和3年度より、本プログラムの授業科目「データリテラシー・AIの基礎」は全学必修科目として開講しており、同年度以降の入学者はすべて本プログラムを履修することとなる。したがって、大学・短大、学部・学科を問わず全学生が受講し、令和8年度には履修率が100%になる見込みである。</p>